

北神けいろうの国政報告：7月号

いつも大変お世話になっています。

京都4区から、「政権交代」を！

21日、やっと衆議院が解散されました。

ブレつづける麻生総理の下で、再三引っ張りつづけられましたが、ようやく国民の皆様へに信を問う事ができます。

小泉元総理は、後期高齢者医療を導入し、年金・介護を値上げし、障害者への支援を打ち切り、地方へのお金の流れを止めました。これが「小さな政府」の正体でした。

その後、選挙もせずに、安倍、福田、麻生さんと、とっかえひっかえ総理を変えました。「小さな政府」への批判が高まれば、今度は、人気取りのために、一時的に税金をばら撒きました。

しかし、本当の問題は、「公(おおやけ)」の心が失われたことです。年金・医療・介護は穴だらけ。子育ても、教育も、誰も助けてくれない。将来への不安が日に日に増している。一人ひとりが自分を守るために、汲々としている。

政治は、この不安を解消してきましたか。それどころか、不安をつくってきたのではないのでしょうか。

この状態で、いくら一時的にお金をばら撒いても、一時的な解決にしかありません。しかも、その財源は、私たちの税金です。あるいは、私たちの子供や孫が払わなければならない借金です。結局、最後は、自民党政権が通した法律にはっきりありますように、ばら撒いた分、消費税増税で回収されることになっています。

あまりにも見通しのない、愚かな、情けない、日本の政治の姿を変えようではありませんか。

民主党は、希望を与える政策を実行します。その財源は、増税でも、借金でもなく、義を明らかにして、政治と官僚の無駄遣いを削ります。そして、将来の京都・日本のために、国民国家の志を育ててまいります。

- 1 「希望を示す」 若者の雇用を守るために、派遣労働の行き過ぎた規制緩和を見直します。そして、子育て支援と教育支援を手厚くします。また、年金・医療・介護への予算を充実させます。こうして、将来への不安を取り除きます。
- 2 「義を明らかにする」 政策の財源として、率先して、多すぎる国会議員を減らします。官僚の天下りも廃止をします。そして、官僚の人件費に切り込んで、真の行政改革を断行します。
- 3 「志を立てる」 日本が抱えている問題は、政治や行政だけにとどまりません。日本人が本来の誇りと気概を失いつつあります。教育を通じて、学力のみならず、道徳や子どもたちのやる気を引き出すのが、最大の課題です。誠意と勇気と常識ある日本人を育てていくことが、そのまま日本の活力につながります。

何としても、政権交代を果たして、私たちに以上の方針の下で、仕事をさせていただきたい。私たち政治家は、言葉で訴えるしか力がありません。政治を変えるのは、皆様です。どうか宜しく願います。